

軒昂会

軒昂会会報 第24号
 発行者 日原 雄
 編集者 田村千秋
 発行日 平成18年2月
 http://kenkokai.tes-jp.net/

会報は年3回を予定しています。
 皆様の原稿お待ちしております。
 頂いた方にはお礼を差し上げます。
 原稿の送り先
 秦野市渋沢 3-2-7 〒259-1322
 FAX:0463-88-2967
 E-Mail:tamur@ybb.ne.jp

軒昂会総会のご案内

軒昂会総会は毎年一月二十日頃行つてまいりましたが年々参加者が減る傾向にあります。また開催場所や開催日及び参加費等考慮したかどうかの意見から幹事会で協議の結果次のように決まりました。

- 検討内容
- 一、出来るだけ多くの会員が集まりやすい場所
 - 二、近場で選定
 - 三、参加費を安く
 - 四、日帰り

泉の湯



- 検討結果
- 一、場所 東名厚木健康センター 本厚木駅より送迎バス
 - 二、日時 三月十三日(月) 総会十八時、入場十時より利用可
 - 三、会費 五千円 オーパー分は会より負担
 - 四、宴会 総会後引き続き開催 カラオケ付
 - 五、会場施設全て利用可 同封の資料参照
- 当日会場にお着きになりましたら軒昂会と言ってください。
 宴会以外での費用は個人負担をお願いします。
 出欠のはがき同封いたしますので三月七日までにお返事をお願いします。
 会員の来場、幹事一同お待ちしております。

「私の近況」と題して皆様へお願いしたところ数名の方から原稿を寄せられました。ご紹介いたします。

私の近況ということでは以下のよう珍しい経験をしましたので、お便りさせて頂いたと思います。

宮本新司
 こんにちは。宮本新司です。

今年の十月にある旅行会社のアメリカ西海岸のツアー旅行に参加した時のことです。グラウンドキヤニオンからラスベガスに戻るバスの中で日本人の現地ガイドさんが、日本に住んでいたときは、横浜に住んでいましたと話され、横浜のどの辺に住んでいたのかと質問したところ、どこかあたりで、実家はこれこれの商売をしていたと話されました。

それを聞いたとき、あっ！あそこの家だと思ひ、それなら知っています。私の家から歩いて五分ぐらいのところ。家も知っています。と言つと、そんな近くの人が参加していると吃驚したといわれ、今度は卒業した小学校、中学校、高校の話になってまたまた吃驚！なんと高校は、私と一緒にいたのです。(勿論卒業年度は違います。これには、一緒に参加した人々も吃驚していました。アメリカに旅行して、家の近くの人、おまけに高校の後輩に会うとは、世間は狭いといひますが、世界は狭いと思ひました。いままでも海外旅行の経験はありますが、こんな経験はおそらく始めて最後でしょう。勿論、国内旅行でも今まで、添乗員さん、ガイドさん共にこういう経験はありません。今回の旅行は、私にとって終生忘れることのできないよき思い出の旅となりました。

近況報告

桜田 忠男

ボランテア活動の中で今、一番新鮮さを感じているのが三溪園でのガイドボランテアです。



三溪園に来園するお客様をリクエストにしたがって国の重要文化財の古建築物や美術品を説明しながら園内をガイドしています。

現在、担当日は毎週水曜日ですが、毎回大勢のお客様との「ふれあい」があつて楽しいひと時を過ごしています。

海外美術館や世界遺産を探究した経験から得た知識が大いに役立っています。

そして、お客様に説明した以上のものでお客様から教えられることもしばしばです。

九月十五日からは恒例となつて「観月会」が始まります。水曜日ではありませんが、十六日には、家内と一緒にライトアップされた三重の塔の上に出る中秋の名月を観賞したいと考えています。

私の近況報告

小川 正義

独立系のエレベーター保守・製造会で、ISO9001(品質マネジメントシステム)やOHSAS18001(安全衛生マネジメントシステム)などのシステム構築と運用の仕事の手伝いをさせてもらつて六年程になります。

エレベーター業界は、従来は三菱、日立、東芝と云うような大手メーカー直系の企業に占められていて、その支配下にあり、他は殆んど参入の余地がないという寡占状態でした。もつとも基本的な構造は今もあまり変わつていないようですが、そこへ折から低価格化の風が吹いてきて、低価格”低料金”を売り物にしていた当社が取柄の会社です。

今回は私の仕事からみて“ISO(イソ)ばなし”・“うそばなし”ではありません。もつとも余り役に立たないものをもつてUSO(ウソ)（嘘八百）などと皮肉るご仁もあられるが、をさせていただきます。

今やISO認証取得事業所は、「品質」「環境」合わせて六万社を超えるという状況で、それ自体がPRになるといふこと世ではありませんが、私としては商売柄その動き、とりわけ認証事業所の業種のバラエティが気になります。

もつとも企業の生産現場用の管理技法としてのルーツをもつ品質管理が、様々な変遷があつたといえ今では、病院、自治体などにまで導入されています。

最近の新聞記事から目に付いたものをピックアップしてみても、いわゆる「大手の会計士事務所が不祥事の再発防止に品質管理を導入」・「学校関係でも大学、高校のISO認証取得の機を見受けられます」

そこで学校にまつわる話を紹介させていただきます。岩手の盛岡中央高校では高校で初めて認証を取得しました。

赤い城壁と広場

世界文化遺産探訪

その一

櫻田 忠男

サンクトペテルベルグから夜行の特急寝台列車で早朝のモスクワに到着し、大きなホテルで朝食をとることに。ピュッフェ形式の食堂は観光客やビジネスマンで非常に混んでいた。窓から外を見ると所々に雪の残った大きな道路の向こうに赤い巨大な城壁に囲まれた建築物が見えた、それが私の見た最初のクレムリンであった。城壁には多くの塔が立っているがその中の5つの大きな塔の先端には赤い星がつけられて輝いているように見える。

その城壁の中にはプーチン大統領の執務室があり現ロシア政権の中核部が置かれている。クリーム色の建物は政府関連のものとなると判るが、金色に輝いたまねぎ型の屋根は何であるか？とガイドブックを出して見ると、それはロシア正教会の教会群であることが判った。クレムリン(ロシア語で城塞の意味)の赤い城壁の内側には全部で十三の教会が建っているそうだ。

「赤の広場」の言葉は今までは共産党政権のシンボルだと強烈に印象付けられていたが、ここに来て見るとどうもイメージがかけ離れていったようだ。赤はロシア皇帝の色で神聖な色、美しい色とされているのだ、決して共産党の象徴ではない、ロシアの歴史は代々のツァーリ(皇帝)の専制政治の歴史と切つても切れない歴史があるのだ、この皇帝がクレムリンをつくり370年にわたつて24人のツァーリがロシア帝国を治めていた。

そしてこの専制君主政治が行はれて背後には強大な権力を有するロシア正教の存在があつてそれにより支えられていたのだ。1839年から1849年にかけてロシアピザンチン様式で建築されたクレムリン大宮殿はモスクワに於ける宮殿であった。実際に「赤の広場」に立つと長さ400メートル、幅150メートルの公表面積よりはるかに大きく感じさせる広場は革命記念日に報じられた大規模な軍事パレードの様子が強烈に甦ってくるが、15世紀末当時の建設の目的は市民の集会和マーケットを開くことであった。

ヨーロッパの主要都市は市街の中心に近い場所にマーケット広場を作り、その回りに市庁舎や教会を配置しているの、モスクワもちよつと違つた形でそれを踏襲しているのだが、共産党政権が最盛期の頃、「赤の広場」といふ言葉が共産主義だけの恐怖の意味をもつて一人歩きをしまつたようだ。もつとも王政時代にもこの広場が政治犯の公開処刑を行なう場所として使われていたことも事実である。ロマノフ王朝の象徴としての大クレムリン宮殿、ダイヤのコレクションがまばゆい武器庫博物館、皇帝の戴冠式が行われたウスペンスキー大聖堂など世界遺産としての見所が多い。



規格要求事項として、「品質目標」を立てなくてはなりません。それが「国立大学現役役合格五十%」です。何と端的で分かり易い目標ではありませんか！しかしこれでよいのでしょうか？

鹿児島大学は国立大学で最初に認証取得したのですが「学生の授業に対する評価を指導に活かす」となっています。

この記事を見て私には仕事柄、色々なことが想像されました。

先ず、日頃他人を評価し専ら点数を付ける側の先生が逆転して点を付けられるわけですから、さぞかし大変なことであること・・・

それから規格要求事項で一番大事な「顧客満足の向上」というのがありますが、学校のお客様は「生徒様」「学生様」というところでしょうか？うしろで、お金を出している親御さんの顔もちらつきませんが、ここは率直に生徒、学生ということを考えてみますと、「生徒・学生の満足の向上」となるわけですが、果たしてそういうことでよいのでしょうか。

私としては、これらの記事を通じて非常に気に掛かることがあります。

それは学校運営というものは、最近の、大学法人化の例をまっまでもなく、大学、高校に限らずビジネスという側面もちらつきます。

しかしながら、それだけではないでしょう。昨今は、かつてのように、教育が聖職で先生が聖職者などと考える人は少ないでしょう。

特にこのところのように、先生の不祥事と耳にするにつけ、それはやむを得ないでしょう。しかしながら私などの年代で「教育は教師と生徒との全人格の触れ合いである」というような理想主義的な教育理念で教育を受けた経験をもつ物にとつて矢張り大いに疑問が残るところです。

諸兄におかれては如何がお感じでしょうか。

軒昂会だより

現在の会員数は五十七名です。最新の住所録同封します。

お願い

平成十七年度軒昂会会費二千円会計までお振込みお願いします。

お振込み先
株式会社みずほ銀行厚木支店
口座番号 二二三六九〇〇